



制酸剤で胃酸の分泌抑制

しようとして炎症が起きます。

長期間続くと、胃酸などを産生する胃粘膜が薄く痩せてしまう萎縮という変化が起き、胃酸の分泌が低下してしまいます。

ピロリ菌を除菌することで、炎症が落ち着いてくると、低下していた胃酸の分泌が改善します。

胃が元気に戻った証拠で良い兆候なのですが、もともと食道裂孔ヘルニアなどがあり胃酸の逆流が起きやすい方は、胃酸の分泌量が増えたことにより、胸焼けなど逆流性食道炎の症状が出てしまうことがあります。

逆流性食道炎の治療は、制酸剤という胃酸の分泌を抑えてくれるお薬を内服することです。

症状の程度は個人差があり、一時的に制酸剤を内服するだけで

症状が改善する方もいれば、長期間内服を継続する必要がある方もいます。適切な診断、適切な処方を受けていれば心配な病気ではありません。

しかし、逆流性食道炎だと思っていたら別の病気が隠れているということもごくまれにあります。内服により症状の改善がない場合には、別の病気が潜んでいるか消化器内科で検査を受けてみることも重要です。

(消化器内科助手 吉田栄継) 【毎月第2日曜日、福島医科大学津医療センターの協力で掲載します】

津医療センター

教えて、

先生!



【20】

Q ピロリ菌除去後、胸焼けがひどくて胃の薬を飲んでいますが、大丈夫でしょうか？(会津坂下町 女性 72歳 H・Sさん)

A ピロリ菌除菌後の逆流性食道炎についてお話しさせていただきます。

ピロリ菌が胃粘膜に感染すると、免疫細胞がピロリ菌を駆除

ピロリ菌除去後、胸焼けに